

がく 月刊 すう我苦

R 5年度 6月号(13号)

令和5年 6月 1日(木)

串木野中学校数学科
毎月きまぐれ発行予定

期末テスト前 特集号

いよいよ来週は期末テストがあります。。。よく質問されることですが,,,
「計算力をつけるにはどうしたらいいですか？」
「うっかりミスがなくなりませんか、どうしたらいいですか？」

この2つ悩みを乗り越えるために、何をすべきか！！そう、それは、

【毎日、反復連打で計算問題を解いて、鍛えよ！】

です。学問に王道なしです。毎日反復で鍛える部分も必要だということです。
反復連打で計算問題を解くと、何が起こるか??毎日毎日同じことを繰り返すと。

【気付き】

が生まれます。こういうところで間違えやすいとか、自分にはこういう癖があるということ
を毎日こなすことで、気付くことができる。
気付ければ、あとは、それを修正すれば、も
う間違えることはありません。

「でも、反復連打でやれって言われても、
面倒くさい」これ、人間の本音。その通りで
す。こんなこと言っている私も面倒くさいと
感じます。。。面倒くさいって思うのは、ごく
普通のことです。誰だって、そう思っている。
でも、やらないきゃダメ、でも、やりたくない

…ジレンマですね。やらないきゃダメだけど、やりたくない。そんなこと、世の中には、い
っぱいあって…では、どうやれば、続けられるか???

続けられる計算力アップ法のポイントは、以下の通りです。

- (ア) 問題は何でもいいし、同じ問題を繰り返してもいい
(イ) 必ず時間を測って、計算に取り組む

の2点。同じ問題を繰り返すと、「自分の失敗パターン」を気付くことが飛躍的に増えます。
と…ということで、学校で使っている行っている「教科書の間」「ワーク(3年生は新研究)」「
小テスト」等を繰り返し使うことが大切です。

また、時間を測りながらやるのも重要です。そして、時間は「秒単位」で測る。なぜ、秒
単位なのかと聞かれれば、答えは簡単。

【自己成長をスグに測れるから】

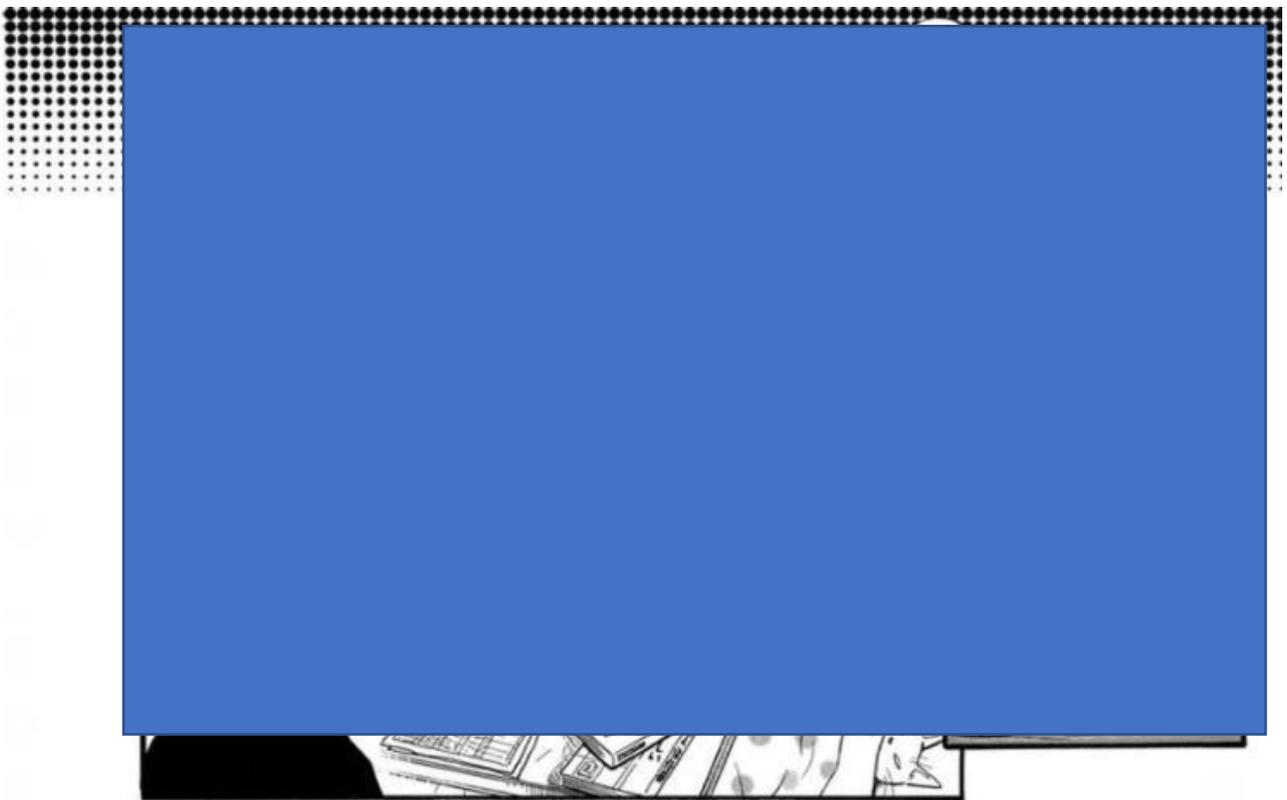
人間、みんな、自分の成長を気付けないとなかなか続けられないものです。でも、計算力のアップってそんな簡単にはかかれるものではない。そこで、出てくるのが時間を測ること。

問題を解くのにかかった時間を、前日と比較する。ほとんどの場合、99.9%は、前日を比べて、確実に時間が短縮されます。自分自身が伸びていることが分かれば、続けられる。しかも、その変化はスグに手に取るように分かるから、やる気は10倍!!!

また、時間を測定することで、短い時間でやり遂げようっていう、競争意識も湧いてきます。また、時間内に所定の問題をこなそうと思ったら、当然集中力も身についてくる。何事もゲーム感覚で続ける。これ大事です。こんな感じで、時間を測って取り組めば、いいこと尽くめ!!!

この2つのポイントを意識しながら、計算力向上に取り組んでください!計算力が向上して、ゆとりができるようになって、気付き力もアップして、うっかりミスが激減します。

最後に!!! 目標を決めて、それを常に意識しながら、反復を繰り返すことが大切です。



脳トレチャレンジ!!! 5月号 答えは「ど」

答えは分かりましたか?角度を変えてみるのが大切ですね。

はじマル

↑

↓

おワる = エンド